首都圏南西部の広域流通拠点

相模原市

さがみロボット産業特区スタート2年

相模原市は11月20日、市政施行60周年を迎えた。特徴あるモノづくり企業が集積した相模原市は、さがみ縦貫道路の相模原愛川インターチェンジ（IC）から高尾山IC間が6月に開通し、東名高速、中央道、関越道と直結した。高機能な物流施設が続々と稼働する一方、神奈川県とともに取り組んでいるのが企業誘致とロボット産業。特にロボット産業は新たな産業としての期待が高まっている。

支援体制着々と進む

生活支援ロボ実証も

相模原市は、5月にロボット協議会を設立した。関連技術を有する中小企業、支援機関や金融機関で構成し、中小企業（共同事業体）に対し、開発費を助成する制度を整えた。市が国の特区「さがみロボット産業特区」の対象地域になって2年。ロボット産業を多面的に支援し、地域活性化につなげたい考え。

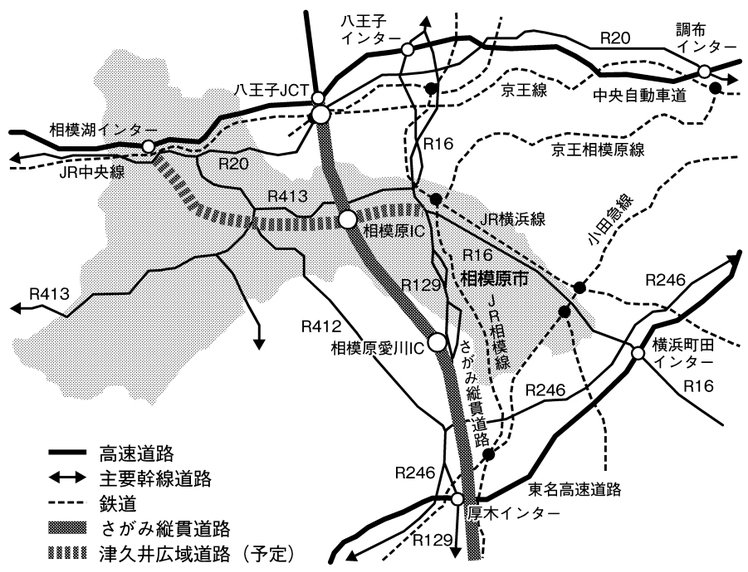
ロボット協議会は、相模原商工会議所に事務局を置き、相模原地域の支援機関、さがみはら産業創造センター（SIC）と相模原市産業振興財団、金融機関、中小企業で設立した。

一方、助成制度は2011年度に創設した「真技術実用化コンソーシアム形成支援事業」を適用し、ロボット関連産業の案件枠1件を新設した。中小企業を核とするコンソーシアムの開発案件に対し、相模原商工会議所やSICなどを通じて開発費を助成する。ロボット協議会、助成制度を合わせて14年度予算に1000万円を計上した。市にはロボット開発の要素技術を有する企業、システムインテグレーションを展開している企業が集積している。市はロボット開発を通じて中小企業を支援することで、地域全体の底上げを目指している。

また市では廃校をロボットの実験場として活用。相模原市緑区の旧県立新磯高校の校舎で、「ロボットプレ実証」を行った。視察した黒岩祐治神奈川県知事は「広い場所で日常的に実験ができれば開発に弾みがつく」と、期待を寄せる。

県はロボット特区内の病院などで、さまざまな生活支援ロボットの実証実験に取り組んでいる。そんな中、企業から開発の初期段階も実際に近い環境で実験したいとの要望が寄せられる中、新たに大型の施設を建設することは難しいことから、広くて安全、自由に使える廃校の活用が決まった。試作初期の段階での実証実験を支援対象に追加し、研究開発の促進と早期実用化を後押しする狙い。

ロボットプレ実証を視察する黒岩神奈川県知事



交通網整備、一層の発展期待

相模原市はさがみ縦貫道路の相模原愛川インターチェンジ（IC）と高尾山ICが6月に開通し、東名高速、中央道、関越道と直結したほか、津久井広域道路などの広域幹線道路整備をはじめ、都市計画道路の整備を進めている。また橋本地区にはリニア中央新幹線駅の設置も決定しており、首都圏南西部の広域交流拠点都市、交通の結節点として、一層の発展が期待されている。こうしたことを背景に、企業誘致施策も2015年4月の見直しに向け準備を進めている。地の利の良さに着目した企業進出も着々と進んでおり、首都圏を支える拠点として注目されている。

企業進出も着々と進む

西松建設は4月に相模原市中央区に植物工場のモデルプラント「相模原サイテックファーム」を開設。空き工場を賃借してクリーンルームを整備し、延べ床面積約300平方㍍にリーフレタスを1日当たり600株を生産・収穫できる完全人工型栽培プラントを設置した。同社は2012年に玉川大学と産学連携協定を結び、同大構内に植物工場「サイテックファーム」を開設。同大が開発した長寿命の発光ダイオード（LED）を光源に、波長を制御して生産性とともに、味や栄養価を追求したリーフレタスを13年2月から出荷している。栽培ノウハウを確立したことから、独自のモデルプラントを開設して、本格的なシステム販売に乗り出した。

一方、地元企業も相模原地区での拠点整備に乗り出している。マーク電子（相模原市緑区）は、14年末に医療機器の新工場を建設し、本社工場と技術開発センターに分散している生産・技術・開発などの各部門を集約する。検査機器や放射線測定装置などの受託生産、自社製品開発の環境を整える。新工場は本社工場の隣接地に建設する。3階建てで延べ床面積は3300平方㍍。投資額は約2億円。医療分野の専門工場に位置づける。

アイダエンジニアリングは、研究開発拠点やプレス機倉庫として活用してきた下九沢事業所（相模原市緑区）に工場を新設する。投資額は10億5000万円。15年9月の完成予定。プレス機の精密装置組み立てや試作機の生産をする。新工場は生産の効率化が主な目的。

相模原市の産業集積促進方策「STEP50」の認定企業は、14年のみで9社。10年4月以降では22社あり、ここ数年では最多の認定数。22社のうち市外企業は、5社あり投資規模は63億8000万円にのぼる。市では来年4月の工場誘致施策の見直し向け、12月の市議会に条例の見直しを上程する予定。立地と施策の両面から企業にアピールする作戦だ。

エレコムは6月、相模原市中央区に第3の物流拠点「神奈川物流センター」を本格稼働した。最大の目的は地震・災害に備える事業継続計画（BCP）体制の構築だが、3拠点にすることで、出荷能力を3割向上させる。BCPの構築が目的のため、内陸部で地盤が強く、消費地との距離、コストなどの基本要件を勘案して圏央道沿線の相模原市となった。新拠点はこれまで培ったノウハウを発展させ、最新の自動化システムを導入。省人化を図り、物流コストを従来比3割低減し、出荷速度を10％向上させた。

メッセージ

人や企業に選ばれる都市に

相模原市長　加山　俊夫氏

相模原市は、昭和29年11月20日に市制を施行し、本年60周年を迎えました。市制施行の翌年、農業中心のまちから工業都市をめざして工場誘致条例を制定し、着実にまちづくりを進め、国内有数の内陸工業都市として発展してまいりました。

また、これまで研究開発に対する支援や中小企業向けの融資制度をはじめ、産業集積促進条例の制定など、時代の経済情勢を的確に捉えながら、製造業をはじめとするさまざまな企業のニーズに応えてまいりました。

本市はリニア中央新幹線駅の設置をはじめ、在日米陸軍相模総合補給廠の一部返還地の活用や小田急多摩線の延伸計画、圏央道開通やインターチェンジ周辺の産業拠点創出など、大規模プロジェクトが集中する全国的にもまれな都市です。

また、最先端技術を有する企業が数多く立地し、圏央道沿線の10市2町を区域とする「さがみロボット産業特区」にも指定されております。成長分野であり、裾野の広いロボット産業の振興に向け、研究開発をはじめとする企業支援に積極的に取り組んでいるところでございます。

本市はモノづくりとともに歩み、成長してまいりました。

今後も、モノづくりとともに、地域特性を生かしながら、首都圏南西部の広域交流拠点として「人や企業に選ばれる都市」をめざし、首都圏のみならず、日本を牽引してまいりたいと考えております。

目的に合わせて
空間を自由にアレンジ
新都市ホール
横浜駅から直結 徒歩5分
● 最大約1,000名収容（ホール）
● 目的・用途に合わせてアレンジ可能
● ロビー、楽屋、調整室（照明・音響・映像等）完備
● 有線LAN（有料）
※同フロアにミーティングルーム（3室）
相談会・展示会
セミナー・講演会
新都市ホール　市民フロア　検索
〒220-0011　横浜市西区高島2-18-1　横浜新都市ビル（そごう横浜店）9F
お問い合わせ：TEL.045-465-2001　FAX.045-465-2620
お問合せの際に「日刊工業新聞を見た」とお伝えください。

創業50年に向って…NEXTSTAGEは
メディカル技術＆放射線技術の探求！
Medical Technology & Innovation
かながわ中小モデル工場
ISO13485認定取得
医療機器製造業許可
（薬事法:許可番号-14BZ290021）
株式会社マーク電子
〒252-0132　相模原市緑区橋本台1-31-1　URL　http://www.markd.co.jp/
技術開発センター・技術部直通　TEL.042-774-4134㈹　FAX.042-771-1226

デジタルコントローラ
相模原発 デジタルコントローラ『Hayabusa』
●フィードバック制御の最速クラス（*サンプリング周期10ms・サイズ48mmX48mm）を可能にした次世代型のデジタルコントローラです。*当社比
TTM-200 シリーズ「簡易プロコン機能を新規搭載」
●新PIDアルゴリズムを採用し制御性を向上
●フルマルチ入力　熱電対（13種類）・白金測温抵抗体（2種類）、電圧（5種類）、電流（1種類）の入力仕様が1機種で実現。（パラメータでの設定変更）
●サンプリング周期　200msの高速化を実現
●コンパクトサイズ　奥行きが55mm（TTM-204）、65mm（TTM-205／207／209）のコンパクトサイズ。又、パネル面取付の突出が2mm。
TTM-204 グレー　TTM-204 ブラック　TTM-207 ブラック　TTM-205 ブラック　TTM-209 ブラック
温度センサ
各種温度素子のセンサを標準仕様だけでなく、耐薬品性に優れたセンサを始めお客様のニーズに沿った仕様の製品も製作致します。
プローブカード
半導体製造工程での検査治具として欠かせない製品です。製品仕様はお客様のニーズに沿った多ピン・狭ピッチへの対応は勿論の事、短納期での生産にも対応致します。
各種温度コントローラ・温度センサの御用命も承ります。
TOHO 東邦電子株式会社
本社／〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本2-4-3
TEL 042-700-2100（代）FAX 042-700-2112
URL：http://www.toho-inc.com E-mail：info@toho-inc.co.jp
本社営業部 ☎042-700-2100　大阪営業所 ☎06-6353-9205
東京営業所 ☎03-3363-1331　熊本営業所 ☎096-214-6507

おかげさまで創業78年
当社は創業以来、常にプラスチックの可能性を追求してまいりました。
これからもプラスチック業界のパイオニアとして「ものづくり」を支えてまいります。
プラスチックの歴史は
天昇電気工業の歩みです
TENSHO
企画から設計～金型製作～成形～塗装～アッセンブリまで一貫生産を実現するトータルエンジニアリングプラスチック
天昇電気工業株式会社
本社　〒194-0004　東京都町田市鶴間687-1 天幸ビル17
TEL 042-788-1555（代表）http://www.tensho-plastic.co.jp
国内工場　福島工場・矢吹工場・群馬工場・埼玉工場・三重工場
海外拠点　China・America・Mexico・Poland

How
「つなぐ」を創る。ネットワークソリューションのパートナー
信頼の自社開発・国内生産、高品質設計と長期安定供給
お客様のシステムにあわせてカスタマイズ対応
あらゆるネットワークプロトコルに精通
IVNEC series
独自の高信頼性品質規格「イブネックシリーズ」
シリアル de LAN
シリアル／イーサネット通信アダプタ
LAN de トーク
音声／イーサネット通信アダプタ
I/O de LAN
デジタル入出力／イーサネット通信アダプタ
株式会社ハウ
〒252-0237 相模原市中央区千代田1-11-17
TEL：(042)753-3616　FAX：(042)769-7300
URL：http://how.jp/